

会報

〒135-0016 江東区東陽4-11-38 令和8年1月1日発行（年1回発行）編集・発行人 小松 弘之



【ニュージーランド北島 ワイポウア森林保護区】
カウリの巨木「タネ・マフタ」樹高51m・幹回り13.8m



【ニュージーランド都市オークランド】
マウントイーデン（標高196m）
すり鉢状のクレーター（死火山）



【ロトルア湖】火山の噴火により出来た湖
ニュージーランド北島で2番目に大きい

目次

新年のご挨拶【東京林業土木協会会長 河津 市元】	1
年頭のご挨拶【関東森林管理局東京事務所長 森山 昌人】	2
令和7年度 主な協会活動報告	3
・東京林業土木協会定時総会及び治山・林道工事コンクール受賞報告会	3～4
・林野庁長官賞「治山・林道工事コンクール表彰式」	4
・林土連定時総会での表彰	4
・関東森林管理局長賞「治山・林道工事コンクール表彰式」	5
・「治山・林道工事コンクール」受賞工事	5
・三嶋大社で「安全祈願」	6
・「森林土木工事における適正な発注事務に関する説明会」に参加	6
・森林土木施工管理講習会を開催	7
・次世代の会「新技術交流イベントに参加」	7
・林土連「技術現地研修会」（長野）を開催	8
・林土連「技術担当者連絡協議会」に出席	9
・林土連「コンプライアンス講習会・労働災害防止研修会」を受講	9
・「2025治山・林道のつどい」へ参加	9
・緑の守り手ブラチナ認定表彰式	10
・「施工性の高い治山対策に関する技術研修会」実施	10
・令和7年度 技術安全会議及び安全パトロール	11～12
・令和7年度 ボランティア活動実施状況	13～14
・「林業土木・木製構造物の経年変化に関する調査」	15～16
・第28回「森林は友達！作文コンクール」を開催	17～19

年頭のご挨拶

会 長 河 津 市 元



新年 開けましておめでとうございます。

新春を迎え、皆さま方のご多幸と会社のご繁栄を心よりお祈り申し上げます。

東京林業土木協会では、昨年6月に6年ぶりとなる海外研修を実施いたしました。コロナ感染期間中を避けて久しぶりの海外研修となりました。

研修場所は、遙か南の島「ニュージーランド」です。この国の北島には一部原生林が残り先住民族マウリの文化が息づいています。私たちは神の木と呼ばれるカウリ（ナンヨウスギ）の巨大木を目の前にして、その存在感に圧倒威圧され、我々人間の想像をこえた神なる未知の存在を意識せざるを得ませんでした。自然と共に生きる先住民族マウリの多様な文化や習慣、慣わしは、今でも国技ラグビーの試合前の「ハカ」の儀式に象徴され生き続けています。

国土の7割の森林をもつ我が国にも森林への畏敬の念と神の存在が色濃く残り、神社や寺院等の祈りの対象として存在をしています。この森林を守り、育てていく林野行政と共にそこで働く我々業界の仕事を誇りに思う研修になりました。

さて建設業界、林業土木協会の課題は数多く存在しております。国の予算、緑の国土強靱化や今後のインフラ維持管理、新たな担い手確保、多発する災害対策などの中でも、特に仕事を通じての適正な利益を確保していくことが重要だと考えています。会社を維持成長させ担い手を受け入れる環境整備をするための資金が必要になります。林野庁も入札応募者の確保や現場の実態に合わせた歩掛補正、新しい入札方式を取り入れてくれています。また、選ばれる森林土木行政（ESD）を実施しています。そのため、以前に比べれば索道やモノレールなど森林土木独自の予算確保が進んでいます。



しかし、基本となる各工種の歩掛は国土交通省の歩掛が元となっており、大型工事の規模や難易度は作業環境劣化の森林土木の現場には合いません。私は森林土木に適合した歩掛、林野行政の歩掛が必要だと思っています。その為に協会活動を通じて森林土木歩掛の創設を提言していく考えです。

日本の森林の守り手の一員として、皆様と共に協会活動に取り組んでいきますので、ご協力、ご指導をお願いして、年頭のご挨拶にさせていただきます。

年頭のご挨拶

関東森林管理局 東京事務所長 森 山 昌 人



新年明けましておめでとうございます。令和8年の年頭にあたり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

東京林業土木協会会員の皆様には、国有林野事業の推進にあたり、日頃より格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。治山事業や林道事業の実施を通じた国土強靱化やグリーン成長への貢献、災害発生時の山地災害ボランティア活動など、多方面にわたるご協力に感謝いたします。また、子供たちへの森林・林業の普及啓発として「森林は友達！作文コンクール」を主催していただくなど、多岐にわたる取り組みにも重ねて御礼申し上げます。

令和6年度の治山・林道工事コンクールにおいては、署等から推薦のあった24件の工事の中から、関東森林管理局及び林野庁での審査委員会における審査を踏まえ、貴協会会員の施工された静岡森林管理署 小山地区（角取山1外）直轄治山工事（R4ゼロ国）が、農林水産大臣賞を受賞されたほか、同じく貴協会会員の施工工事から、治山工事1件と林道工事1件が関東森林管理局長賞を受賞されました。これもひとえに、協会の皆様の、優良工事に向けての施工意識の高さや、地域社会に対する貢献、安全作業など、多方面への配慮や努力の結果が評価されているものと感じています。今年度も各森林管理署等から数多くの治山、林道工事の推薦があり、関東森林管理局での審査会を経て、過日、林野庁の審査委員会に推薦させて頂いているところです。

また、令和6年度より実施している、緑の守り手認定事業者制度につきましては、新たな取組みであったにも関わらず、関東森林管理局管内で51社もの多数の森林土木事業者の方々より申請して頂き、ご協力に感謝申し上げます。申請のあった51社のうち、森林土木工事における継続貢献や、地域への災害対応活動、人材育成等の多方面においてご尽力された15社の森林土木事業者の方々とプラチナ認定事業者として表彰し、貴協会会員でも7社の事業者の方々と表彰したところです。今年度は、緑の守り手認定要領における認定基準の一部を改正し、再募集をホームページ上で行っております。昨年度、ゴールドやシルバー等に認定されている事業者の方々におかれましては、令和6年度の取組み内容によって、上のグレードに認定される場合もありますので、ご確認頂ければ幸いです。

労働安全に関しましては、貴協会会員のご尽力により、昨年は当局管内で治山・林道工事での労働災害は未発生となっているところです。これから本格的な冬期を迎えるとともに、森林土木工事も終盤となってきます。会員の皆様には、労働災害の撲滅に向け、現場の安全対策の一層の徹底についてお願い申し上げます。

貴協会会員の皆様をはじめ、森林土木事業体の皆様には、治山・林道事業の実施や災害対応活動等を通じ、地域を支える担い手のひとりとして貢献いただいているところであり、今後とも、治山・林道工事コンクールや緑の守り手認定事業者制度等により、皆様の役割や貢献をPRし、「選ばれる森林土木」に向けた更なる取組を進めていきたいと考えておりますので、ご理解とご協力のほど賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、東京林業土木協会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝を祈念し、新年のご挨拶といたします。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。
令和8年 元旦

令和7年度 主な協会活動報告

■ 東京林業土木協会定時総会及び治山・林道工事コンクール受賞報告会

令和7年度の定時総会は、3月6日「ホテルイースト21東京」で開催しました。

定時総会では、河津会長の挨拶、来賓として林土連堂本専務理事から祝辞をいただき、引き続き議事に入り、令和6年度事業報告、決算報告及び会計監査報告、公益目的実施報告が説明され承認されました。続いて令和7年度の事業計画及び予算書を説明し総会が終了しました。

その後、開催した「治山・林道工事コンクール受賞報告会」には、来賓として、関東森林管理局次長（東京事務所長）畑様、計画保全部長諏訪様、森林整備課長緒方様、林土連からは専務理事堂本様が出席され受賞報告会が開催されました。

受賞報告会では、2月18日林野庁治山・林道工事コンクールで農林水産大臣賞を受賞された小野建設（株）小野大和様、同日林土連定時総会で、林土連会長表彰を受賞された天野工業（株）谷内政雄様に会長から記念品の贈呈がありました。

また、農林水産大臣賞及び関東森林管理局長賞の受賞工事を担当した現場代理人、主任技術者にも記念品が贈られました。



定時総会（河津会長挨拶）



来賓挨拶（堂本専務理事）



受賞報告会来賓の皆様



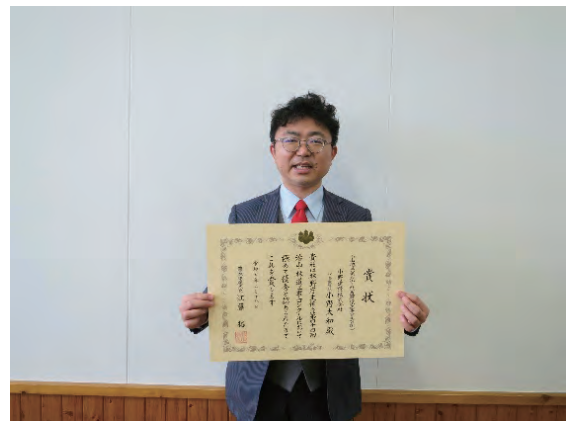
畑東京事務所長



受賞報告会（受賞者と来賓の皆様）

■ 林野庁長官賞「治山・林道工事コンクール表彰式」

2月18日林野庁長官室において、令和6年度治山・林道工事コンクール農林水産大臣賞の表彰式が行われ、治山部門は小野建設(株)が受賞されました。



農林水産大臣賞受賞工事（治山部門）「小山地区（角取山1外）直轄治山工事（R4ゼロ国）」（小野大和様）

■ 林土連定時総会での表彰

2月18日林野庁表彰を受け、林土連定時総会においても表彰が行われました。また、林土連の発展に寄与された天野工業(株)谷内政雄様に林土連会長表賞の授与式が行われました。



林野庁長官表彰治山部門受賞者



林土連会長表彰受賞者

■ 関東森林管理局賞「治山・林道工事コンクール表彰式」

関東森林管理局において2月27日治山・林道工事コンクールの関東森林管理局長賞表彰式が行われ、関東森林管理局松村局長から表彰状が授与されました。当協会会員から治山部門で1件 河津建設(株)、林道部門で1件 中沢工業(株)が受賞し表彰されました。

また、2月18日に農林水産省において農林水産大臣賞を受賞された工事の小野建設(株)現場代理人 向笠勝弘様 同じく監理技術者 大澤駿様に関東森林管理局長賞が授与されました。



■ 「治山・林道工事コンクール」受賞工事

治山・林道工事コンクールの農林水産大臣賞、関東森林管理局長賞表彰の工事は以下のとおりです。
農林水産大臣表彰工事の、現場代理人・主任技術者等は関東森林管理局長表彰。
関東森林管理局長賞工事の、現場代理人・主任技術者等は東京林業土木協会会長表彰。

【農林水産大臣賞】(治山部門)

署等	工事名	会社名	代表者	現場代理人	監理技術者
静岡	小山地区(角取山1外)直轄治山工事(R4ゼ口国)	小野建設(株)	小野 大和	向笠 勝弘	大澤 駿

【関東森林管理局長賞】(治山部門)

署等	工事名	会社名	代表者	現場代理人	監理技術者
伊豆	萩ノ入地区復旧治山工事	河津建設(株)	河津 市元	小澤 仁	小澤 仁

【関東森林管理局長賞】(林道部門)

署等	工事名	会社名	代表者	現場代理人	主任技術者
山梨	本谷(本谷)林道災害復旧工事	中沢工業(株)	中沢 圭太	内藤 秀夫	内藤 秀夫

■ 三嶋大社で「安全祈願」



会員皆さんによる安全祈願（静岡県三嶋大社 4月18日）



■ 「森林土木工事における適正な発注事務に関する説明会」に参加

関東森林管理局大会議室において、5月19日「選ばれる森林土木」キャラバンが開催され、林野庁計画課施工企画調整室を中心とした説明者、発注者である関東森林管理局の治山・林道担当者、局近隣の署等担当者、受注者である（一社）前橋林業土木協会、（一社）東京林業土木協会各代表が出席し、管内の関係職員もWebで参加しました。

説明会は、全国の森林管理局で実施しており、森林土木工事の現状や工事の積算等の改善の今までの取組、今後新たに実施する取組、ICTの活用事例など具体的な説明を受けました。

質疑応答では、各協会会員からの意見要望を議題とし、林野庁から説明を受け関東森林管理局職員も共通の課題と認識し、今後の工事受発注に役立つことを期待します。



■ 森林土木施工管理講習会を開催

令和7年度の森林土木施工管理講習会は、「ホテルイースト21東京」において7月30日、主任技術者・現場代理人等60名が参加し開催しました。

午前中の講義は、林土連堂本専務理事から冒頭令和7年度の重大災害について、重機等の転落による災害が多発しているが、発注時点で安全について検討すべき余地があるのではとの説明がありました。その後「森林土木工事における施工管理のあり方」と題して、第3次担い手3法、各種アンケートの結果及び概要、現場条件等実態に適合した設計積算、工事関係書類の簡素化と完成検査基準の見直し、森林土木工事における施工管理のあり方等、事例を挙げてわかりやすい講習となりました。



会場の様子



堂本専務理事



午後は、関東森林管理局緒方森林整備課長から「森林整備保全事業積算要領等の主な改正」等の説明があり、その後、東京事務所神長上席技術指導官から「設計積算基準の改正に伴う変更協議」「ICT活用事例」「木材利用の事例」等の現場の担当者への参考となる講義がありました。



緒方森林整備課長



神長上席技術指導官



会場からの質疑

■ 次世代の会「新技術交流イベントに参加」

次世代の会（次世代を担う協会会員企業の役員等の会）では、11月14日静岡市駿河区「グランシップ」において行われた新技術交流イベントin Shizuoka「建設現場の生産向上」に5名が参加しました。内容は、遠隔運用型ドローンシステム、3次元レーザースキャナー、チルトローテータのデモンストレーション・体験で、今後の参考となりました。



看板



講習



ドローン



チルトローテータ

■ 林土連「技術現地研修会」(長野)を開催

令和7年度の林土連技術現地研修会は、10月22～23日長野県軽井沢町において「火山の麓に生まれたまちの自然と暮らしの防災・減災」のタイトルで開催されました。



佐伯中部森林管理局長

初日は室内研修を、「軽井沢プリンスホテルウエスト」で開催し、林土連新谷会長の挨拶、佐伯中部森林管理局長から来賓挨拶、立澤治山課長から「中部森林管理局における治山・林道事業の主な取り組み」の事業説明があり、長野協会会員の株式会社羽田組小山主任技術官から「ICT技術を活用した工事事例紹介」、地元長野県佐久穂町出身の2025ミス日本佐塚みどりの大使から「私が感じた林業」の体験報告がありました。

研修交流会では、阿部長野県知事からの来賓挨拶があり有意義な交流会となりました。



(立澤治山課長)



(小山主任技術官)



(佐塚みどりの大使)



阿部長野県知事



翌日は、浅間山直轄火山砂防事業箇所現場研修が開催され、浅間山の噴火を想定した下流への災害対策について、国土交通省関東地方整備局 石田利根川水系砂防事務所長から説明があり、続いて、受注した株式会社竹花組上原工事長からICTを活用しての施工について説明を受けました。

その後、上流国有林事業の濁川3地域防災対策総合治山工事の現場に移動し、東信森林管理署中屋総括治山技術官から工事概要の説明の他、中部局初の火山泥流対策ダムであり国土交通省の砂防事業と連携しての火山対策等の説明を受け有意義な研修でした。



(石田事務所長)



(中屋総括治山技術官)

■ 林土連「技術担当者連絡協議会」に出席

11月17日DAYS赤坂見附において、技術担当者連絡協議会が林土連主催で開催され、林野庁担当者、全国協会会員含め44名が出席しました。当協会から事務局長が参加。

会議は木下林土連技術安全委員長の挨拶の後、各協会から提出された改善要望事項について、林野庁から回答、説明があり活発な意見交換が行われました。



五味企画調整室長挨拶

■ 林土連「コンプライアンス講習会・労働災害防止研修会」を受講

林土連主催で、11月18日DAYS赤坂見附において、コンプライアンス講習会及び労働災害防止研修会が開催され、当協会からは中村総務副委員長及び事務局長が出席しました。

研修会は田中林土連コンプライアンス委員長の挨拶の後、林土連堂本専務から「建設業のコンプライアンス」について講義があり、建設業に関する法令違反等の説明がありました。

その後、東京管区気象台気象防災部観測予報課赤木技術専門官から「大雨災害から命と安全を守るための防災気象情報の利活用について」の講義があり、段階的に発表される防災気象情報の説明、気象庁のホームページの活用等について詳細な説明があり、施工現場での天候の情報収集に役立つものと思われる。



田中コンプライアンス委員長



堂本専務



赤木技術専門官

■ 「2025治山・林道のつどい」へ参加

11月19日海運クラブにおいて「2025治山・林道のつどい」に、当協会から河津会長・大藤副会長、国際建設(株)古田東京支社長及び事務局長が出席しました。

この会議は、地域の社会基盤である森林・山村を守るための、治山事業及び森林整備事業による緑の国土強靱化等を目的として、林野公共予算の確保・拡充を図ることで開催されました。

林土連からは新谷会長の挨拶、現場からの声を風大阪協会副会長(石川県森林土木協会理事)から「奥能登の複合災害とその復旧に向けて」の説明がありました。



風大阪協会副会長

■ 緑の守り手プラチナ認定表彰式

関東森林管理局では、各地域の山林の現場で活躍する森林土木工事の事業者については、活動の現場が山間奥地のため、活動内容が広く地域に認知されていないため、各地域で貢献されている森林土木事業者を「緑の守り手認定事業者」として認定することにより、これまで地域で果たしてきた様々な役割・貢献について「見える化」するとともに、地域における認知度の向上を図ることを目的として認定することとなりました。

申請の内容により、プラチナ、ゴールド、シルバー、ブロンズのグレードがあり、プラチナに認定された事業者には表彰状授与が、7月11日関東森林管理局東京事務所会議室で行われました。



東京事務所長より表彰状

- ・天野工業(株)
- ・(株)中村組
- ・(株)龍崎工務店
- ・中沢工業(株)
- ・(株)木村組
- ・(株)白鳥建設
- ・(株)鈴木組



■ 「施工性の高い治山対策に関する技術研修会」実施

静岡森林管理署管内、小山町民有林直轄治山事業地において、8月26日日本林業土木(株)が主催する「施工性の高い治山対策に関する技術研修会」を行い、当協会会員の小野建設(株)が富士山スコリア地で施工中の現場で実施しました。

森林土木事業は、奥地山間部の急傾斜地での作業が多いことに加え、省力化や生産性向上、工期短縮などが求められており、施工性の高い工種・工法を導入することが急務になってます。研修会には、林野庁や県、市町村の行政機関をはじめ森林土木に関わるコンサルタントや施工業者など約80名が参加しました。



林野庁挨拶



小野建設(株)からの説明



■ 令和7年度 技術安全会議及び安全パトロール

実施日	地 区	実施場所	実施内容	参 加 者
1.31	静 岡 西 部	浜 松 市 内	安全祈願	※地区会員
4.18	協 会	三 島 市	安全祈願・安全会議	東京事務所 ※全会員
5.27	協 会	江 東 区 内	技術安全委員会	※技術安全委員
6.26	山 梨	甲 府 市 内	安全祈願	山梨所 ※地区会員
7.25	静 岡 西 部	浜 松 市 内	技術安全会議	※地区会員
7.30	協 会	江 東 区 内	施工管理講習会	関東局 東京事務所 ※全会員
8.1	静 岡 東 部	伊 豆 市	安全祈願	伊豆署 ※地区会員
9.29	山 梨	野 呂 川 地 区	安全パトロール・ 技術安全会議	山梨所 甲府労基署 ※地区会員
9.30	静 岡 中 部 静 岡 西 部	静 岡 市	安全パトロール・ 技術安全会議	静岡署 ※地区会員
10.1	静 岡 東 部	河 津 町	安全パトロール・ 技術安全会議	伊豆署 下田労基署 ※地区会員
10.2	茨 城	日 立 市	安全パトロール・ 技術安全会議	茨城署 日立労基署 ※地区会員
10.17	大 井 川	川 根 本 町	技術安全会議	大井川治山センター 島田労基署※地区会員
10.21	静 岡 西 部	浜 松 市	安全パトロール・ 技術安全会議	天竜署 ※地区会員
11.26	山 梨	甲 府 市 内	技術安全会議	山梨所 山梨労働局 ※地区会員
12.8	協 会	江 東 区 内	技術安全委員会	※技術安全委員

安全祈願



静岡西部地区
(五社神社・諏訪神社)



山梨地区
(武田神社)



静岡東部地区
(山神社 湯ヶ島国有林)



茨城地区 助川地区復旧治山工事



山梨地区



野呂川（コワシ崩）



野呂川（ゴウロ沢）



静岡東部地区 河津川地区復旧治山工事



室内研修



静岡中部・西部地区(合同)室内研修



梅ヶ島地区（西日影沢）復旧治山工事



大井川地区 室内研修



静岡西部地区 室内研修



門桁沢地区復旧治山工事（多年度国債）



■ 令和7年度 ボランティア活動実施状況

地 区	場 所	実施日	作 業 内 容	実 施 会 社
茨 城	茨 城 署 管 内	10.31	林道沿線の草刈等	(株)根本組、(株)龍崎工務店
山 梨	山 梨 所 管 内	12.1	林道沿線の草刈・ゴミ収集等	天野工業(株)、植野興業(株)、国際建設(株)、小林建設(株)、清水建設興業(株)、中沢工業(株)、扶桑建設(株)
静岡東部	伊 豆 署 管 内	11.7	カーブミラーの清掃・林道沿線の草刈り及び清掃	東海建設(株)、(株)泉建設、小野建設(株)、河津建設(株)
静岡中部	静 岡 署 管 内	8.29 10.1 10.20 10.30	林道沿線の草刈り・ゴミ拾い、カーブミラーの清掃 林道沿線のゴミ拾い、草刈り 林道沿線の草刈り・ゴミ拾い、カーブミラーの清掃 カーブミラー清掃・ゲート周辺及び林道沿線の草刈り	(株)白鳥建設 佐野藤建設(株) (株)木村組 小野建設(株)
静岡西部	天 竜 署 管 内	10.25	道路路面・側溝の清掃及び崩土堆積土除去、道路路肩草刈り、遊歩道の清掃及び草刈り	(株)渡辺兄弟工業、(株)戸田建設、(株)中村組、(株)川島組、正光建設(株)、(株)鈴木組、三協建設(株)、中村建設(株)、(株)正久工業
大 井 川	大井川治山セ管内	6.20	道路路面補修等	(株)梶山組、(株)柳澤組、河津建設(株)、(株)グロージョ



茨城地区



山梨地区



静岡東部地区



静岡中部地区



静岡西部地区



大井川地区

■「林業土木・木製構造物の経年変化に関する調査」

趣 旨

この調査は、林業土木事業で使用する木製構造物の経年変化を長期にわたり観察調査し、施設の構造、規格、施工性及び維持管理方法等を策定する基礎資料とするための調査です。

調査の企画、調査の実施、進行管理等の総括は(一社)日本林業土木連合協会が行い、具体的な現地調査、取りまとめの実施は各土木協会が実施します。

対象調査工作物は、木材の損症状況、施設の機能発揮状況等について行い、調査結果は毎年一定期間に取りまとめ選定した各施工箇所の評価は5年毎に行います。

木製構造物を設置してから13年経過した箇所（5年前の第2回調査から3巡目）の令和7年度調査が伊豆森林管理署管内「奥ノ沢治山工事」のコンクリート谷止工（残置型柵）、東京神奈川森林管理署管内「高尾地区治山工事」丸太筋工箇所があり、経過調査を実施しました。

前回調査と比較して、谷止工では腐朽により部材自体の強度は低下していますが、外部応力がかからないことから機能は保持しています。丸太筋工については、地面に接しているため腐朽劣化が進んでいますが、斜面は安定して山腹工の効果は出ています。

・奥ノ沢治山工事（谷止工）

全景



（平成27年度）



（令和2年度）



今回（令和7年度）

詳細



（平成27年度）



（令和2年度）



今回（令和7年度）



(平成27年度)



(令和2年度)



今回 (令和7年度)

・高尾地区治山工事（丸太筋工）
全景



(平成27年度)



(令和2年度)



今回 (令和7年度)

詳細



(平成27年度)



(令和2年度)



今回 (令和7年度)



(平成27年度)



(令和2年度)



今回 (令和7年度)

■ 第28回「森林は友達！作文コンクール」を開催

令和7年度の第28回「森林は友達！作文コンクール」は22団体（小学校21校、団体2）から1,487名の応募がありました。

各学校及び署等において第1次、第2次審査を行い、最終審査に残った31作品を令和7年1月28日に審査委員会開催、その結果下記のとおり受賞者が決定され、2月28日「林野庁関東森林管理局東京事務所」で、最優秀賞、優秀賞、優良賞の表彰式を行いました。

- ①最優秀賞（林野庁長官） 1点
- ②優秀賞（関東森林管理局長） 3点
- ③優良賞（東京林業土木協会長） 6点
- ④努力賞（東京林業土木協会長） 10点

趣 旨

これから未来を担う小学生（4年生～6年生）を対象に、森林や林業に対する理解や関心をより一層深めてもらうことを目的として、平成10年度から開催しています。

この作文コンクールは、旧東京分局管内1都6県に所在する森林管理署や高尾森林ふれあいセンター等で開催された「森林教室・体験林業」に参加した小学生を対象に作文を募集し、作文コンクール審査委員会で最終審査を行い林野庁長官賞をはじめ毎回表彰しています。

◇審査委員

東京林業土木協会	森林文化委員	2名
学識経験者		2名
関係省庁		2名
計		6名



審査委員会



参加記念品
(木製温度計)



小林審査委員長挨拶



畑東京事務所長お祝いの言葉



最優秀賞（林野庁長官賞）
横浜市立美しが丘小学校 4年生 成瀬 圭悟さん



最優秀賞作品朗読



受賞者・畑東京事務所長・審査委員

第28回「森林は友達！作文コンクール」受賞者

賞 名	団体名	学年	氏 名	作品名
最優秀賞 (林野庁長官賞)	横浜市立 美しが丘小学校	4年生	成瀬 圭悟	ぼくが学んだ森林の大切さ
優秀賞 (関東森林管理局長賞)	多摩市立連光寺小学校	5年生	宮部 円花	炭焼きと環境
〃	町田市立 成瀬中央小学校	5年生	谷口 喜春	緑の華やかさ
〃	相模女子大学小学部	4年生	中村 美千香	なぜ木材は使われる？
優良賞 (東京林業土木協会長賞)	西東京市立 向台小学校	5年生	水谷 悠真	森林と人
〃	浜松市立水窪小学校	5年生	坂本 那実	森林について学べた校外学習
〃	甲府市立 相川小学校	5年生	橘田 裕人	森林の重要性について
〃	横浜市立 美しが丘小学校	4年生	金 蓮莉	森林がもたらしてくれること
〃	八王子市立 第三小学校	5年生	後藤 菜々美	森林の大切さ
〃	八王子市立 秋葉台小学校	5年生	外林 薫	森林を知ることで
〃	西東京市立 向台小学校	5年生	中島 悠人	森林について新しく知った事
〃	西東京市立 谷戸小学校	5年生	藤岡 咲歩	森林と私達

賞 名	団体名	学年	氏 名	作品名
努力賞 (東京林業土木協会賞)	八王子市立 秋葉台小学校	5年生	秋 月 湊 翔	役立つ森林
〃	八王子市立 元八王子東小学校	5年生	石 井 心 羽	森林教室を通して
〃	八王子市立 上川口小学校	5年生	石 井 優 風	環境に良い暮らしを
〃	多摩市立 連光寺小学校	5年生	岡 崎 遍 音	森林のために
〃	立川市立 第五小学校	5年生	越 智 ひ かる	森林教室を通して
〃	多摩市立 連光寺小学校	5年生	中 元 樹 里	里山と私たち
〃	板橋区立 上板橋第四小学校	5年生	蜂 巢 千 代	森林学習で感じた事
〃	相模女子大学小学部	4年生	道 廣 理 沙	森林はただ植えられてる物じゃない
〃	東村山市立 北山小学校	5年生	宮 寺 彩 音	森林教室で学んだこと
〃	横浜市立 美しが丘小学校	4年生	山 崎 瑞 己	人や動物、自然との「共存」

考えたことを三つ書きます。

まず一つ目に、人間は森林を守り、できるだけ森林をふやすことが良いと思います。もし森林がへてしまふと、天然ダムとしての役わりを十分に果たすことができません。川がはんらんして、下流の街で洪水が起こ、てしまふかもしれません。また、二酸化炭素がふえて地球が温暖化するのを食い止めるためにも、森林をふやせば良いはずです。しかし、人間も生活をしていくには、街に住たくも畑の場所も必要なので、森林とのバランスが大変なところだと思います。

二つ目に、森林に住む動物や植物を大切にすることが良いと思います。動物と植物は色々な種類があることによつて、食物連鎖がうまくいき、生き物たちがみんな助け合つて生きていくことができます。森林にくらす生き物たちが幸せに生活できるように、むやみに木を切らないことや、動物をつかまえないことが大切です。

ぼくが学んだ森林の大切さ

四年 成瀬 圭悟

ぼくは、高尾宿泊体験学習の森林観察に参加して、「高尾森林ふれあい推進センター」の人に森林がさまざまな役わりを果たしていることを教えてもらいました。この森林観察で、ぼくは森林のすこさを知ることができました。

森林は、雨水をたくわえて「天然ダム（緑のダム）」として洪水などの災害を防ぐ役わりがあります。さらに、山の中を通る雨水はろかされてきれいな水に変わります。また、森林の木々は光合成をして二酸化炭素を酸素に変えてくれたり、木から紙を作ることにもとまふ。そして、森林は動物たちに住む場所と食べ物をあたえています。森林は、これほどたくさんの役わりを果たしているのに、人間は森林のために良いことがほとんどできていません。これからあたしたち人間はどのように森林と関われれば良いでしょうか。ぼくが



三つ目に、人間が森林やその中にくらす動物や植物についても、とまひ、その関係性を理解することが大事だと思います。森林が大切な役わりを果たしていることを知れば、森林をよごしたりせずついたりする人がへるはずです。森林を大事にするということは、いろんなことを通して自分たちの生活を守ることにつながるのです。

ぼくは、森林センターで丸太切り体験をしました。切った丸太は水の良い循環がして、木が生まれているのを感じることができました。ふたんの生活では、森林のことを考えたことはありませんでした。これからは自分たちの生活が森林のおかげであることをおすねないようにしたいです。そして、水や紙や電気などを無駄にしないように気をつけたいと思います。また自分の家の庭でも植物を育ててみたいと思います。

協会今後の行事予定

- 1月22日 林土連第1回理事会
- 1月23日 東京協会第1回理事会
- 2月17日 林土連定時総会
- 3月5日 東京協会定時総会